

平成27年 第5回 定例教育委員会

日 時：平成27年5月19日

午後3時30分開会

場 所：山東庁舎 3階 第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 小路委員 本庄委員
山本教育長

教 育 部 長：田中部長

教 育 総 務 課：仲谷課長 藤岡補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：宮崎次長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：森田課長

図 書 館：雨森館長

書 記：西村

1 開 会

2 委員長あいさつ

昨日は1回目の総合教育会議が開催され、委員の皆様、出席いただきありがとうございました。市長さん共々、我々委員としては緊張する中での1時間半でした。沈黙することもなく皆様には積極的に御発言をいただきまして、もう少し時間があれば良かったのですが、1回目の会議ということで終わらせていただきました。政策推進課で担当していただいておりますが、今後に向けて内容をある程度整理していただきながら、教育委員としても内容をある程度絞って可能な範囲で下調べをして望んだ方が良いです。その場だけの発言ではいけません。意味のある会議にしていきたいと思います。改めて会議規則を見ていましたら、第5条に意見の聴取等とあり、内容によっては委員だけではなく学識経験者等の出席があっても良いと思います。

もう一点、先週の15日に都市連協の定期総会、研修会があり、委員全員と部長さん課長さんに出席していただき大変お疲れ様でした。例年のように研修会や懇親会等があったわけですが、情報交換をしっかりとしてきました。特に長浜、近江八幡、草津、守山、野洲については、新教育長で新しい法律に則ってスタートされています。当市は形態的には従来と同じになりますが、他市の情報を取り入れながら、さらに米原市でも見直しを進めていければと思います。なお、平成26年度は都市教育長会、都市教育委員会連絡協議会会長の事務局が回ってきたわけですが、無事に会長職を務められました。部長さん課長さんにはお世話になりありがとうございました。

3 会議録承認

3月臨時会 承認

4月定例会 承認

4 教育長報告

委員長から昨日の総合教育会議の話もありましたが、今後、教育総務課と政策推進課の中で、昨日出た話題の中でテーマを絞って、2か月後くらいを目処に2回目を考えているようなので調整をお願いしたいと思います。また懇談会もあってもいいのかなと思いましたし、今後、教育委員会として次年度のことも踏まえながら、予算的な話ができればと思います。

前回の定例教育委員会の日に、三役の各部局別の目標ヒアリングがありまして、特に教育とし

ては、子ども達が健やかに学べる環境づくりということで、空調、トイレの整備をやりまし、学校、地域、家庭の連携ということで、米原に誇りを持つ子ども達の教育、昨日も話題に出ました小規模校ならではの良さを生かした米原の魅力ある学校づくりということで、特に柏原小中学校区の小中一貫なり、特任校としての位置付けもということが出ていましたが、今年進めます学校支援地域本部事業を見極めながら、また必要などころについては支援をしようと思っています。また、特に河南小学校は、避難所として開設が他校に比べたら頻繁にあるという状況になります。そういった中で、防災の観点から、体育館にテレビや電話などの設備を施設として整えていく必要があるだろうという話も出ていました。

そして、今年は合併10周年ということで、歴史文化財保護課に関わっての流星の打ち上げですか、山城サミットですか、そういった部分でのシティセールスを歴史文化財保護課だけではなく、市が一体となって展開する必要があるのではないかと話題がありました。また、次の総合教育会議との関わりもありますので、話題のあったことを話させていただきました。

教育総務課では、この1か月間の中で特に大きいのは、国の会計検査院の会検が入りました。山東東小学校は今もう廃校にしていますが、体育館の補助金を平成23年に受けておまして、すぐに廃校になっているというあたりの補助金の取扱の問題と、坂田小学校の新しい教室の補助金の検査が入りまして、細かい宿題をいただいて今後国で検討されるという状況です。今後、非構造物の撤去の入札、トイレ工事の入札等が入ります。

学校教育課につきましては、4月1か月の報告を見た時に、不登校の児童が若干増えつつあるのかなと思いました。しかも、学校によって顕著に違いがあるので、地域性があるのかなと思っています。いじめの報告もあがっていますし、それぞれ学校で対応していただいているところです。

教育センターでは調査研究員の委嘱式を行いまして、6部会34人ほどですが、先日、1回目の調査研究委員会をスタートさせていただきました。そしてまた、人事訪問を5月中旬から入りまして、まだ2校しか行っていませんが、6月にかけて人事訪問に関わらせていただこうと思います。市の学力調査も12日から14日の間に小中学校でやっていただきました。いよいよ明日、長浜市で中学校の教科書採択協議会が開催されまして、委員長にも出席していただくこととなります。この教育委員会でも米原市として教科書採択の協議をすることとなります。7月の終わりから8月になりますが、委員の皆さんには新しい教科書を御覧いただきたいと思っています。

生涯学習課では、家庭教育フォーラムが4月25日にルッチプラザの健康ルームでありまして、100人はいきませんでした。非常に身近なところでパネルディスカッションをしていただきました。1つはフォーラムのやり方を提示していただき、5プラス1の家庭教育のモデルを、各校園に持って帰っていただき、各単Pで研修などしていただけたら有り難いと思います。今後、伊吹山テレビでテーマを決めてPRしていただこうと思っています。

かっつ伊吹の1回目の成功委員会が先日終わりました。実行委員長は大澤さんに決まりました。市の体育協会の理事会も終わりました。今年度会長は谷村さんをお願いすることでスタートしました。

歴史文化財保護課では、お手元にお配りさせていただいています『学校のまわりの宝物』という冊子がありますが、各小学校区単位で、地域の様子から歴史、主な遺跡を一覧にして冊子にさせていただきました。これを使いながら子ども達の地域学習に生かしていきたいと思っています。伊吹山テレビでは、歴史のまち米原として高橋君が出ていますし、米原市の情報発信をさせていただいております。また、歴史講座をやっていただいておりますし、今後この冊子以外でも、自然や伝統文化を含めて各小学校区のパンフレットを作っていただこうと思っています。

学校給食課では、順調に給食業務をやっていただいております。アレルギー反応の出た子がいて心配しましたが、学校とのやりとりの中で給食によるものではなくて、学校のほこりによるアレルギーが出たものでした。今後、学校給食の運営委員会を開いていただきますけれど、委員長にもお話ししましたが、教育委員さんの中から教育委員会が認める者として委員を出させていただきました。そこはもうお返ししようという話をしておりますので、御承知いただきたいと思っています。

図書館では、読書の講演会を家庭教育フォーラムの後の4月26日にやりまして、165人来ていただきましたし、来ていただいた方の評価は非常に高いものであり、満足して帰っていただき

ました。5月8日から巡回文庫もしていただいておりますし、今後入札の関係では図書館のシステムの更新のプロポーザルをしていただくことで、この辺りが大きな事業となってきます。また、6月13日には伊吹小学校の図書室の大改造をやるということで、大きな事業を県と生涯学習課の連携のもとやっていただくこととなります。委員さんの中で時間があれば、こういった学校図書室の大改造が行われるのか見に来ていただいても有り難いかなと思います。

委員：学校教育課の方で、先月、全国レベルの学力調査があったわけですが、日経新聞の中にも問題が出ておりましたし、フェイスブックを見ていると、親御さんも1回やってみたとのことでしたし、関心を持ってされているんだなと感じました。公開できる範囲でいいのですが、先生方の反応とか、県教育委員会の反応とか情報があったら提供いただければと思います。

事務局：今、学校で集計をしているところですが、問題が1問1答ではなくて、考えを問う問題になっております。国語であれば、文章を読んで自分の考えを書く。また、条件に合わせて意見を書くということになります。滋賀県の入試問題でもそれに併せて昨年度から、社会、理科も暗記だけではなくて、考えを問う問題になっています。学力テスト、入学試験については、私たちが目指すところの問題になってきており、それに合わせて授業を変えていく必要があります。具体的には、自分の意見を書く、そして話す、話し合うというような、一方通行ではなく双方向になるように考えています。学力状況調査の結果については期待しております。校園長会では、「白紙にしない」、「最後までやる」、そして「見直しをする」ということを子どもたちに再確認するよう言いました。

委員：色々準備があったかと思いますが、結果は大分あとになるのですか。

事務局：8月になります。

委員：何年生と何年生が対象ですか。

事務局：全国学力調査は小学6年生と中学3年生、市の調査は小学5年生と中学2年生です。

委員：自分の考えを記入する、思ったことが言える。ただ何か聞いた時に、「はい」、「いいえ」ではなく、こういうところが良かったと発言できるように問いかける、授業もそういう流れになっているかと思います。その辺りから、考えて書く、聞くことから内容を想像すると視野が広がる。聞くことから、ストーリーをイメージしたり、言葉の意味を知ったりと、読書に繋がっていくのではと思います。巡回図書で各クラスに40冊、全学年の全学校、こんなにも沢山の冊数の本が移動していますが、近江図書館と山東図書館の2つで区域を分けておられるのですか。また、本の選書作業は図書ボランティアさんがされているのでしょうか。

事務局：職員も入ってやっております。

委員：40冊といいますと結構大変ではないかなと思います。運搬はボランティアさんが、やっておられるのですね。

事務局：選書はかなり大変です。学年ごとに分割しているのではなくて、1・2年生、3・4年生、5・6年生というくくりで運搬しています。

委員：学力調査については、基礎基本の面をどう定着さすかが問題だと思います。B問題を見ますと、算数の問題を解きましたけれど、最初のとっかかりとして考え方をしっかりやっていかないと何も分からない。授業でその辺をしっかりとやっていただきたい。例えば、数学で言えば解き方の授業をしてはだめですね。考え方の授業をしていかないといけない。学校の先生方は、今年もコピーして分析しておられたのですか。

事務局：まだしておりません。

委員：しっかり問題の傾向を掴んでいただいて、講師の先生を招いて研修をしていただいたりしたらいいのではないかと思います。

委員：滋賀国体の準備は大体どのくらい進んでいますか。

事務局：ホッケーを受け入れるかどうかというところが、1つの課題になっていまして、教育総務課と生涯学習課の方で所管しております。会議がありまして、コートが2つ

必要ということで、どういうふうに着用をつけていこうかということなのです。1つは伊吹に県立の競技場があるのですが、観客席を少し増やしていく、基準として一時的にも増やしていくということなのです。今は1つしかないの、設置するのか、少し離れて大きなところなのか、具体的なことはまだです。

事務局：国体より先にワールドマスターズゲームが関西であるのですが、国体の3年前に開催されます。生涯学習課のスポーツ担当の方に、早く米原市がホッケーを開催してほしいとの県からの要請や、ホッケー協会からの要請の声も耳に入っております。滋賀県として、ホッケーに手を挙げると言っているようなので、ホッケー協会も受けざるを得ない。ただ、国体の3年前なので、施設整備のありようがどのような状況になるのか問題になります。挙げたら挙げたで県営のホッケー場については、当然整備していってもらわないといけないし、それは、終わってからするのか、それまでにするのか県が決めればよい。もう1コートについては、3年前に市が整備するというのは厳しいので、長浜ドームも視野に入れて2会場でやることは可能ですが、これは県に言っています。ただ、国体としては、市がもう1コート整備するのか、県と財政負担のやりとりをしっかりとってから、米原市はホッケーだということが表に出てくる。その辺の調整ができていないので、出せません。

委員：セミプロの試合になるかと思いますが、子どもたちにその場を見せるというのもいいことかと思いますが、前向きをお願いします。

委員：子ども達が落ち着いてくる頃かと思いますが、カッターナイフを持ち歩く生徒のことが気になります。

事務局：カッターナイフですが慎重に対処しているところです。

委員：カッターナイフを取り上げた先生を蹴っていますが、中学生ですか。

事務局：そうです。

委員：ここでやったらあかんという意識がないというか、学べないというか、他にも問題を起こしている子ではないのですか。

事務局：初めてだと思います。言われるように、切れてしまった後の行動というのはコントロールできないので、自分で切れる前にどう気持ちをおさえることができるのかを教えることも必要です。

委員：反省の気持ちが薄い子が多いように思います。

事務局：切れてしまうというのは他の学校でもありました。

委員：人間関係は大事だと思いますのでよろしくお願いします。

給食センターの小学2年生のさやむきえんどうのさやむき体験は毎年ありますが、子ども達は毎年代わっていますが、地域によってはどれくらい意味のあるものなのですか。これしかないのですか。

事務局：あとの食材として使えるものとして考えると、そうなります。

委員：幼稚園、保育園では自分達で育てて収穫してカレーパーティをやったり、焼き肉パーティをやったり、もう少し質の高いことをされています。場所はどこでやられているのですか。

事務局：栄養士さんが学校に出向いて指導してやっています。それを持って帰ってきて、次の日の給食の混ぜご飯やおかずの一部に使います。

委員：毎年ここで聞かせていただいていると思いますが、今年も同じなのですね。もう一つ上の段階を目指していただけたらと思います。給食室でご飯が炊けるとか。

事務局：もう一工夫できるよう栄養士さんに伝えます。

委員：これは食育の一貫として、小学2年生がターゲットになっていますよね。年間1回は、小学1年生から中学3年生までにやらなくてはいけないのではなかったか。

事務局：資料の下の方にも書いてありますように、小学3年生は箸の持ち方をやっていますし、全部が全部無理なので小学2年生、3年生でやっています。

事務局：何年も続いてきたという成果を検証しながら、委員さんがおっしゃったように、もう少しステップアップなり考えてもいいのかなと思います。なかなか大変なことだと思いますが、よろしくお願いします。

- 委員： 問題行動につきまして、いじめが沢山ありました。新学期新しい学級づくりがポイントかと思います。
- 事務局： 特に大きな問題が起こったということはないです。いじめについては、新しい法律ができましたので、本人がいじめだと感じたら、もしくは保護者がそう感じたら、いじめだということですので、本人からの申立もあります。全て対応はしております。もちろんここで終わったというわけではありませんので、見守りを続けています。
- 委員： いじめの場合、該当の子どもさんや加害の子どもさんの範囲ではなくて、側の生徒の指導も一緒にやっておられる。そうなってくると、4月に学級としてどのように支え合って、あるいは、いじめをなくしていこうかという指導にも大事なこととなってきますので、1年間この子はこういう子なんだとか、そうになってしまうと別の問題に波及しますので、学級力も含めて側の生徒を含めた指導もよろしく願いします。
- 生涯学習課の家庭の教育力フォーラムの資料を見せていただいて、私は行けなかったのですが、家庭教育フォーラム振り返り表は大変わかりやすく、楽しく読ませていただきました。逆に反省といいますか、しっかり振り返りの中で、次に繋げていただきたいと思います。

5 議案審議

報告第 2号 公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の事業計画および決算に関する書類の提出について 【生涯学習課】

- 委員： お風呂はどんな状況ですか。
- 事務局： 指定管理の領域の中で薬草風呂を運営していただいています。冬場につきましては、一定期間休止するという状態で営業日を絞り込んでいただいている状態です。
- 委員： かなり売り上げが落ちているように思ったのですが。
- 事務局： 資料につきましては、26 ページのところに26年度までの数字を入れております。日計人数が目立ってしまうのですが、各項目の左半分に入湯人数とあります。26年度で見ますと大人と子ども併せて35,723人が利用されたというところ。年間日平均138人ということになります。これを24年の数字を見ていただきますと、年間日平均137人、25年で年間132人、26年度は年間日平均が138人となりますので営業日に対して人数が減っているということではないということで御了承ください。
- 委員： 日曜日や、かっつびの時期は、かなりお風呂が混むように聞いていますが現状を教えてくださいいただけますか。
- 事務局： 伊吹山に登山される方の中の一部の方は、伊吹薬草の里文化センターに車を停車されて、そこから直接登山をされる方もいらっしゃる、色々なタイプの方がいらっしゃる。そういう方は、帰りにお風呂に入るということもあります。一般的に登山のお客さん全員が薬草風呂に入られるのかというところですが、決してそういうわけではありません。これが開設された時と現在とで少し周辺環境も変わっておりまして、長浜市内浅井地区にあります温泉施設に入って帰られる方が非常に多いのが正直なところ。かなり流れは変わってきているというところ。
- 事務局： 公益財団は儲けてはいけないしマイナスでも駄目だし、儲けたら儲けたで皆に還元しないといけない。そういう性質のものであるということ、学校給食会の会議に行きまして。財団という立場で規模の大きい予算ですし、少し気になったのですが、赤字の部分がうまくやれるのか心配しています。
- 事務局： ただ、夢高原かっつび伊吹に来られたお客さんは、間違いなく最後に薬草風呂に入り来られます。走って、上がって、薬草の里文化センターに戻って、薬草の湯に入ることによって完結しますので、これだけは強調したいと思います。
- 委員： 公益財団法人の代表理事としてお話ししますが、色々な事業の狙いが出ていましたが、

先だって会議の前に監査を受けましたが、本当に色々な営業努力をされています。お風呂についてもPR等創意工夫をしてもらっています。特に灯油代が上がって、予算措置は110円で見てもらっていますが、実際は167円ということになって、その分は市の指定管理といいながら、何も見てもらえないのですね。当然プラスになる訳はありません。値段の問題と地元業者の問題で、多分課長にも話はいつているかもしれませんが、確かに難しいです。

委員： 差がかなりある場合がありますね。

委員： 27年度に入って、薬草風呂は市外から沢山入湯してもらっておりまして、かなり遠い所からも来ていただいております。使用料についてですが、1時間使ったら会議室いくらということになります。経営者としては従来に比べ収益が上がりにません。ある会議で朝の9時から11時まで使って、あと1時間空いている状態であり、使用料が掛からないから廊下で長いこと話されている。他の指定管理者でも同じことになっているかと思えます。指定管理料に余剰金が出たら返還してくださいということですが、指定管理施設だから任せるというスタンスではなくて、経営等について指導していただきたい。財団の指定管理は28年度で終わるのですか。薬草の風呂も含めて、平成29年度から将来どうしていくのかという絵を描いて欲しい。それを、市の有識者も交えながら考えてほしいです。その辺の話が監査の時に出ていました。20年前にできた施設ですので修理費50万円では足りません。各部屋に使っていない物もありますし、もったいないです。間に合わない物もあります。

議案第45号 米原市体育施設条例の一部を改正する条例について 【生涯学習課】
原案承認

議案第46号 平成27年度米原市一般会計補正予算（第3号）について 【各課】
原案承認

議案第47号 米原市いじめ問題調査委員会委員の追加委嘱について 【学校教育課】
原案承認

議案第48号 米原市社会教育委員の委嘱について 【生涯学習課】
原案承認

議案第49号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】
原案承認
○うたと邦楽器2015

議案第50号 後援等名義使用承認（共催）について 【生涯学習課】
原案承認
○第2回ガッキーとゆかいな音楽仲間コンサート

議案第51号 後援等名義使用承認（共催）について 【生涯学習課】
原案承認
○奥 華子 10th Anniversary Concert Tour2015～弾き語り～

6 報告事項

(1) 後援等名義使用承認（後援）について

○柏原地区古民家活用サポート事業 【生涯学習課】

○滋賀県次世代創造発信事業 邦楽・邦舞キッズワークショップ

○米原市人権教育研究大会 【学校教育課】

○平成 26 年度年報について図書館館長から報告

- 委員 : 27 年度はウエルカム図書館というスローガンでいこうということだったが、お話隊の派遣事業は、若干縮小の方向で考えていきたいと思います。
- 事務局 : 今日の資料はあくまで年報なので前年度を示したものとして御理解ください。
- 委員 : 実際お話隊の派遣はどのように縮小になるのか。
- 事務局 : これまでは、千冊の本をデリバリーバンが図書館から遠い幼稚園や保育園にお届けしてきました。わずかな金額ですが、有償ボランティアさんに読み聞かせをしていただいております。そのボランティアさんについて、昨年度で終わっております。今年度は図書館に来てもらうというシステムの取組をしたいと思っております。団体貸出は纏まった数の本を一定期間で貸すことが図書館でできますので、その制度に転化していきたいという考えを持っております。また、本の貸出事業というのは、1 万冊の本を 4 年間展開してきたのですが、のべ 7 万数千冊の貸出しになっておりまして、絵本が 1 冊以上 7 回借りられた状態になっており、本が傷んできている状態です。これを修繕しながら貸す方に回していたのですが、この原資としてもかなりきつくなってきています。それに対して、図書館の児童向けの本はかなり多くあり、新しいものも循環して入れています。本を借りて読むという習慣が定着してきたので、今度は図書館に来てもらって借りてもらう。個人的に借りてもらうのもありですし、団体貸出を使っていただくのもありだと思います。そのような転換を 2 年くらいの間でシフトチェンジしていきたいと思っております。
- 年報のどこの数字を見たらいいのかということですが、5 ページの個人の貸出冊数両図書館において、26 年度山東は 292,445 冊、近江は 183,020 冊。一番右に個人合計があって、475,465 冊。確かに団体に本を貸すことも大事なのですが、全国評価としては個人の貸出冊数のみで見られているという現状がありますので、米原市は全国でどの位置に見られるかという時に、ここの数字を重視しないとイケません。それを下の棒グラフに落としています。山東は残念ながら開館 3 年目で一番高まりを示して、そこから右肩下がりです。近江は開館 16 年目で最高の数値が出ているという状態もあるのですが、これから先、更にここの数字を両図書館とも上げていきたいと思っております。館長が 46 ページ、47 ページの利用者アンケートの説明をしてくれましたが、これは定例教育委員会の中で、委員からかつて御質問があって、顧客満足度についてどうやって見るのかという質問での貸出冊数で見ますと回答していますが、もう一方で、年度末の 2 月に経年変化をとるようなアンケートを取りたいという狙いがあります。この中には、年齢と性別をクロス検索を掛けるために、「リクエストという制度を知っていますか。」「レファレンスという制度を知っている。」が満足したかどうかというところ。これは経年的な資料になりますが、実はここで欲しかったのは、悪い状況のデータでこれからサービスの質を上げていくことによって、経年変化の右肩上がりの表を作りたいということで、イメージしていたのですが、回答していただいた方がいふうに評価していただきました。これは簡易なデータで顧客満足度を形にしたものとして御理解ください。
- 委員 : 見せていただきましたが、アンケートはいい結果が出ています。例えば職員の対応でも良くなかったとかありません。
- 委員 : アンケートの中で、調べ物について尋ねたことがないというウエイトはどうしてでしょうか。
- 事務局 : レファレンスサービスの認知度はあります。2 年テーマを決めておりまして、去年は貸出にウエイトを置き、2 年目はレファレンスを知ってもらって活用していただくと考えております。
- 委員 : 忙しくされていると話しかけづらく遠慮してしまいますが、段々図書館の職員さん

と仲良くなり調べてくれないかと言えるようになりました。大人でも子どもでも職員さんと仲良くなって、そういう方向にもってってもらえたらいいと思います。自分の読みたい本があるから図書館に行くことは原点だと思っていますので、大変ですが頑張ってください。

委員長 : 纏めていただくだけでも大変だと思います。本日の議案は以上です。

7 質疑応答

8 その他

9 閉会

次回

第6回定例教育委員会 6月23日(火)午後3時～

近江図書館 談話室

以上をもって第2回定例教育委員会を午後4時55分に終了した。